

10月4日(土) 13:30~14:35  
 A会場 (1号館3階講堂)  
 一般演題口演1  
 座長 櫻田 美雄 (摂南大学)  
 土屋 慶子 (横浜市立大学)

演題番号	演者	所属	演題
01-1			取り下げ
01-2	小林 裕子	早稲田大学大学院人間科学科研究科	自由診療・インプラント治療における歯科医師・患者間のコミュニケーションに関する研究
01-3	金山 圭一	静岡県立大学短期大学部	歯科衛生士学生へのアートベース教育の実践
01-4	菊地 真実	帝京平成大学 薬学部	共同意思決定における支援ニーズの多角的探索：患者・患者家族・医療者・管理者への FGI の質的分析から

10月4日(土) 13:30~14:35  
 B会場 (1号館1階講堂)  
 一般演題口演2  
 座長 河村 洋子 (産業医科大学)  
 本間 三恵子 (埼玉県立大学)

演題番号	演者	所属	演題
02-1	甲斐 更紗	国立がん研究センター がん対策研究所	正確性の担保と効率的な作業を両立させた手話版医療情報の作成手法の検討—手話動画「肺がん」作成工程から—
02-2	尾崎 玲奈	京都大学大学院 社会健康医学系専攻 医学コミュニケーション学分野	聴覚障害者の子育てに関するコミュニケーション方法の選択
02-3	南谷 優成	東京大学 医学部 附属病院	ホスピタルアート導入が患者と医療スタッフに与える影響とその認識の差違：大学病院における実践的検討
02-4	関 美穂子	京都大学大学院 医学研究科 社会健康医学専攻 医学コミュニケーション分野	メンタルヘルススティグマと社会的接触に関するスクーピングレビュー

10月4日(土) 14:40~15:45

A会場(1号館3階講堂)

一般演題口演3

座長 南谷 かおり(りんくう総合医療センター)

高永 茂(広島大学)

演題番号	演者	所属	演題
03-1	金城 光	明治学院大学 心理学部 心理学科	高齢者の否定文の理解力を単純な否定命題課題の訓練効果から考える
03-2	小杉 実香	順天堂大学 大学院 医学研究科 医療通訳分野	外国人患者対応経験のある医療者がもつ医療通訳者の必要性に関連する要因
03-3	チョウ イイ	順天堂大学 大学院 医学研究科 医療通訳分野	外国人患者のコミュニケーション・スキルと医療通訳サービス利用意欲との関連性の検討
03-4	西村 多寿子	プレミアム医学英語教育事務所	薬学部での「やさしい日本語」授業実践と、学生回答をもとにした生成AI搭載アプリ「やさしい日本語3文トレーニング講評」の構築・活用

10月4日(土) 14:40~15:45

B会場(1号館1階講堂)

一般演題口演4

座長 石崎 雅人(東京大学大学院)

島崎 崇史(東京慈恵会医科大学)

演題番号	演者	所属	演題
04-1	松尾 史郎	慶應義塾大学 大学院 健康マネジメント研究科	麻酔説明書「合併症」記載部における可読性と理解しやすさの関連— jReadability と PEMAT-P 日本版を用いた探索的パイロット研究 —
04-2	山田 裕子	東京大学大学院 医学系研究科 医療コミュニケーション学分野	HPV ワクチン説明資料の理解しやすさと行動しやすさの評価
04-3	中村 萌香	大阪樟蔭女子大学 健康栄養学部	主人公の食卓—栄養プロファイリングモデルを用いた日本スポーツアニメ登場食品の評価—
04-4	杉本 丹瑚	大阪樟蔭女子大学 大学院 人間科学研究科 人間栄養学専攻	日本スポーツアニメにみる食・栄養の多面的役割 — 共起ネットワークによるセリフ分析から

10月5日(日) 10:40~12:00

A会場(1号館3階講堂)

一般演題口演5

座長 中山 和弘(聖路加国際大学)

江口 泰正(健康教育推進研究所)

演題番号	演者	所属	演題
05-1	早川 雅代	慶應義塾大学薬学部	薬剤師に相談するための質問リスト(QPLP)の活用可能性に関する患者へのインターネットパネル調査
05-2	堀 紀子	国立長寿医療研究センター 研究所	フレイル高齢者に対する健康情報提供方法の違いが健康教室の参加希望率に及ぼす影響 —web 調査によるランダム化比較試験—
05-3	加納 安彦	名古屋大学 環境医学研究所	国内における健康や食品に関する疑似科学言説の流布と受容
05-4	宮脇 梨奈	明治大学 文学部	大学生のデジタル・ヘルスリテラシーとコロナワクチンの認識および接種行動との関連

10月5日(日) 10:40~12:00

B会場(1号館1階講堂)

一般演題口演6

座長 孫 大輔(鳥取大学)

酒井 由紀子(慶應義塾大学)

演題番号	演者	所属	演題
06-1	荒川 美咲	東北大学 東北メディカル・メガバンク機構	ゲノム医療・研究のプレスリリース発出ガイド(日・英) —概要と公開後の反響について—
06-2	北澤 京子	メディアドクター研究会	プレスリリース用メディアドクター指標を用いた製薬企業および大学/研究機関発プレスリリースの評価
06-3	北澤 京子	京都薬科大学	市民を対象とした Evidence-based Medicine に関する E ラーニング教材の普及実装研究:対象者の特性による学習効果
06-4	浦田 優唯	慶應義塾大学病院看護部	妊娠期から産後にかけての母親を対象としたソーシャルサポート環境を促進するツールのデザイン

10月4日(土) 17:30~18:00 (コアタイム)

C会場 (教育研究棟 13階)

ポスター発表

演題番号	演者	所属	演題
P-01	横田 理恵	星薬科大学薬学部医療コミュニケーション学研究室	不妊のパブリックスティグマ尺度の開発：文献調査を通じた項目プールの作成
P-02	杉本 なおみ	慶應義塾大学 看護医療学部	在宅移行期多疾患併存状態高齢患者の診療情報提供に関する病院医・在宅医対象質問紙（予備）調査
P-03	平野 優子	慶應義塾大学看護医療学部	COVID-19 感染流行下における母親の妊娠期から子育て期の医療・福祉職の支援的対話者の有無による心理的・身体的健康度およびレジリエンスの違い
P-04	穴沢 良子	東京大学 大学院医学系研究科 医療コミュニケーション学教室	医療機関ウェブサイトのメッセージが人々の受診行動に与える影響の考察：精神科診療所のメッセージの特徴に注目して
P-05	増澤 祐子	新潟県立看護大学	日本助産学会「エビデンスに基づく助産ガイドライン 2024」の作成過程に妊娠・出産を迎える女性の価値観・希望を反映する工夫：実践報告
P-06	土屋 慶子	横浜市立大学 都市社会文化研究科	言葉と視線が織りなす共同行為のための規範構築：救急医療シミュレーションでの患者家族・医師・看護師による三者会話のマルチモーダル談話分析
P-07	中神 克之	名古屋葵大学健康科学部看護学科	ICUの指導初心者の指導上の困難とその解決法
P-08	高澤 慎也	東京大学 小児外科	こどもや保護者に向けた小児外科疾患ヘルスプロモーション動画の試み
P-09	石川 志麻	慶應義塾大学 看護医療学部	茅ヶ崎市 A 地区で行う社会的孤立・孤独予防活動における産官学連携
P-10	稲垣 安沙	国立がん研究センター がん対策研究所 がん情報提供部	乳がんに関する科学的根拠のある情報アクセスの支援をするチャットボットの活用方法の探索：がん専門相談員による試用とアンケート調査
P-11	長谷川 結	慶應義塾大学 先端生命科学研究所 からだ館	コミュニティパートナーシップモデルを活かした「健幸ゲームマイスター養成講座」の実践報告
P-12	大村 雅之	帝京大学大学院公衆衛生学研究科	小学生水準のリーダビリティで書かれた日本語の医学情報はわかりやすいのか？—日本人成人を対象とした無作為化比較試験—
P-13	小林 洋子	筑波技術大学 共生社会創生学部	聴覚・視覚障害者のソーシャルキャピタルとヘルスとの関連における予備調査

P-14	伊藤 明代	京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医学コミュニケーション学分野	脊髄損傷者におけるピア主導型介入のメカニズム：スコーピングレビュー
P-15	大山 航我	東京医療保健大学医療保健学部 医療情報学科	ヘルスリテラシーの向上と健康行動を促進するデジタルコンテンツの制作とメッセージ配信の評価
P-16	河村 洋子	産業医科大学 産業保健学部	COVID-19 ワクチンに対する態度とメディア利用の関連
P-17	羽藤 倫子	帝京大学 大学院公衆衛生学研究科	若年女性の健康相談相手としてのAIチャットボットの可能性
P-18	山中 知子	藍野大学 看護学部看護学科	孤立孤独予防を目指したあまがさきユース保健室と行政の連携～尼崎市こども青少年課の取り組み～
P-19	二野屏 美佳	獨協医科大学 看護学部	思春期におけるヘルスリテラシー（HLSAC）とQOLおよびヘルスアウトカムとの関連：横断研究
P-20	小泉 志保	京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 薬剤疫学分野 政策のための科学ユニット	生成AIを用いた医療情報の伝達：リテラシーとコミュニケーションの観点からの文献レビュー
P-21	渡邊 清高	帝京大学医学部内科学講座 腫瘍内科	生成AIがひらく新たな対話のかたち：AI搭載がん相談サービス「ランタン」にみる医療者間コミュニケーションの方向性
P-22	野口 悦	大阪大学 大学院医学系研究科 医学史料室	免疫・アレルギーの理解促進のための科学絵本の小学校現場における有用性
P-23	長谷 由紀子	広島大学大学院医学系科学研究科 歯周病態学	歯科衛生士の業務移管／分担（タスクシフト／シェア）に対する医療専門職の認識
P-24	櫻田 美雄	摂南大学 現代社会学部 現代社会学科	カンファレンス研究の現在と未来 - 検査データを経由した患者認識の取り扱いに注目して